

工業高校(工業科)・ 先端技術実習プロジェクト



現状・課題

- 工業に関する基礎知識と専門技能を身につけ、AIやIoT、5Gをはじめとする最新技術の導入が急速に進む製造現場で活躍できる創造性豊かな技能者の育成が必要。
- 実習を重視したカリキュラムにより、生徒が実践的な技能や職業人としての資質・能力を習得できるよう教育を実施。
- 科学技術の急速な進歩と産業技術の高度化に対応し、実習設備の継続的な更新・新規導入が必要。

取組

地域や社会の健全で持続的な発展を担う、産業人材を育て続ける環境づくり

● 実践的なものづくり教育の教育環境の整備

- ・地域産業や社会の課題に向き合い、主体的に学び、創造する力を育むため、実践的なものづくり教育を推進します。
- ・実習設備の更新や新規導入を進め、生徒がより高度で実践的な知識や技能を、習得できる教育環境を構築します。



● 産業技術の高度化・デジタル化への対応

- ・3D計測、3D設計、デジタル加工、IoT、プログラミング、自動化など、現代の産業現場に対応した学習機会を充実させ、生徒が将来の産業界で求められるスキルを身に付けられるデジタル技術活用環境の整備を進めます。



● 地域産業や成長産業との連携強化

- ・地域産業や成長産業との連携を強化し、より実践的な学習やプロジェクト型学習、高度専門技能者による指導などを進め、教育と産業をつなぐ人材育成体制の構築を目指します。



● 工業教育の魅力化と発信

- ・地域産業を支える人材育成につなげるため、生徒が取り組む実習やプロジェクト、ものづくりの成果や魅力などを広く発信し、工業教育に対する理解と関心の向上に取り組みます。

寄附金の使途

実習設備の更新・新規導入費用、生徒が自由な発想で創作活動に取り組める教育環境の整備費、産学連携の強化に向けた取組経費、工業教育の魅力を次世代に広げる経費 等